

日本学術会議 心理学・教育学委員会  
不登校現象と学校づくり分科会  
(第26期・第3回) 議事要旨

日時: 令和6年 12月 21日(土) 13:30~15:00

場所: オンライン会議

オンライン出席: 勝野、嶋田、西岡、吉田、上野、大桃、小方、唐木、北村、小玉、三時、浜田、本田、  
松下、山田、山名、油布、伊藤

欠席: 酒井、志水、末富、中井、溝上

## 報告

議事に先立ち、西岡委員長より下記の3点が報告された。

### (1) 委員の追加について

西岡委員長より、日本学術会議心理学・教育学委員会不登校現象と学校づくり分科会に新たに本田由紀連携会員が委員として参加されることが報告された。

### (2) 日本学術会議パンフレット

西岡委員長より、日本学術会議パンフレットに関する紹介がなされた。

### (3) 臨時総会の開催について(2024年12月22日)

西岡委員長より臨時総会の開催予定について報告があり、日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会の議論状況について紹介がなされた。

## 議題

### (1) シンポジウム『学びの多様化学校』の学校づくりに学ぶ

西岡委員長より同シンポジウムにおいて参加者が286人であったことが報告された。シンポジウムの登壇者から貴重な知見が得られたことを確認しつつ、分科会メンバー間でその内容について意見交換を行った。

### (2) 「報告」の構成と執筆分担について

2024年10月21日総会における磯副会長からの要望を受けて、本分科会の「報告」作成のスケジュールについて再検討した。その結果、今期で「記録」を作成し、それを来期の分科会へ引き継ぐという方向で進めていくことを決定した。その構成および執筆分担については、引き続き検討することとなった。

### (3) 今後の活動計画について

第3回シンポジウム「不登校現象に関する研究の到達点」については、2025年3月16日(日)の13:00から16:00までオンラインで開催することとし、提案書を承認した。なお、同シンポジウム終了後(16:30-17:00)、第4回分科会が開催される予定である。

来年度以降の活動について、特に第4回シンポジウムの開催について意見交換を行った。この点については、継続審議となった。

以上